

# 乳幼児期の精神衛生の研究

松戸市における未熟児健診（18ヶ月児）の結果について

百井一郎（国立コロニーのぞみの園）  
池田由子（国立精神衛生研究所）  
根岸敬矩 “  
今井亮子 “  
上林靖子（国立国府台病院）  
高瀬直子 “  
伊藤みよ（松戸市衛生部）  
加藤まち子 “  
木谷重代 “

## まえがき

われわれは前年にひきつゞき、松戸市に生れた低出生体重児について、いわゆる未熟児健診を、月令3ヶ月、6ヶ月、9ヶ月、12ヶ月、18ヶ月の時期に行なってきた。（松戸市で出生した者については、生後1ヶ月以内にすでに家庭訪問を行なっている）。また、未熟児健診未受診児については、必ず、保健婦による家庭訪問を行ない、精神、身体面の発達を追跡しようとしている。

そのうち、3～4ヶ月児健診の結果については、その一部をすでに報告してあるので、今回は18ヶ月児の健診結果については、報告したい。

なお、なぜ18ヶ月児の健診を行なうかという理由は、われわれの長年にわたる、3才児健診の経験から、3才以前の精神身体方面の健康診査を行なう必要を痛感しているためである。12ヶ月児健診は「お誕生健診」として、母親にとって記憶しやすいが、児童の心身発達という見地からみると、言語、歩行という重要な機能の面でまだ十分発達しておらず、個人差が大きく、直接行動観察により客観的に評価できる面が少ないと考えられる。また、3才児健診において、いわゆる「言語発達遅滞」として、この地区の児童相談所における精密検査で、児童精神科医の接する幼児のほぼ25%前後に、乳児期から幼児前期にかけて、母子関係の稀薄な、乃至は問題のある症例が含まれており、これらの発見や治療も早期である程予后がよいことが推察される。

また、松戸市では、県保健所において、2才児の歯科健診を月2回行なっているが、つねに予定

数の80%以上の母子が来所し、この時期の母親の指導に対する要求が高いことが認められる。

とりわけ、松戸市のように、首都圏のベッドタウンとして、地方より上京したり、親類知人を欠く、年令の若い核家族の多い地域においては、1昨年われわれが発表したように、育児の知識を、書物、新聞、テレビ、ラジオのような、非人間的な媒体に依存している率が高いので、母親の育児に関する不安を鎮め、発達や母子関係のひずみがあれば早く発見し、地域精神衛生対策の一環として、身体的面が強調される乳児健診に次いで、精神身体的な面からの幼児前期健診を行ない、その効果を判定することが必要と考えられる。

## 対 象

今回対象に選んだ18ヶ月児は、松戸市衛生部健康管理課で管理する未熟児のうち、月令18ヶ月に達したものである。松戸市では、全出生乳児の約5.4%が出生児体重2500g以下で、いわゆる未熟児健診の対象となる。（昭和49年度では年間429人）。

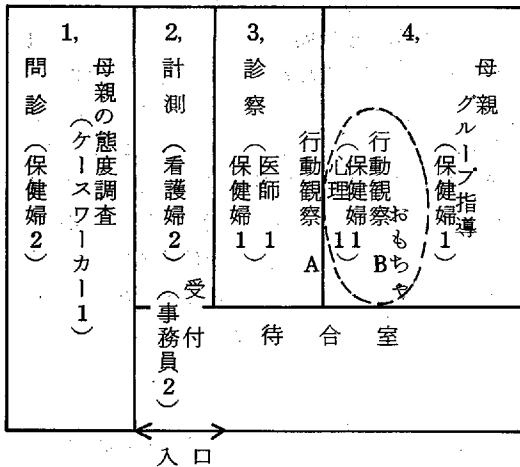
昭和48、49、50年度に健康管理した未熟児総数は、計1049名で表1に示すとおりであり、転出、転入の状況は、表2、表3に示してある。松戸市は、首都圏の新興都市として、周辺の都市に比較し、人口の平均年令が若く、乳児出生数も多いといわれるが、転出入も多く、ほぼ同数に当たる約20%が転出入している。

また、松戸市住民でも、他府県で出産後、新生児をそこで過すケース（約30%）のあることも、

未熟児管理上の問題点であるが、われわれが未熟児健診対象児として接触し、管理した子どもの中で、現在までの3年間に死亡したものは計7名で、表4の如くなり、ダウン症2名が含まれていることが注目される。今回の研究対象としては、3ヶ月健診以来、継続的に健診を行って月令18ヶ月に達した児童580名のうち、健診に参加した300名(全対象児の51.7%)が選ばれた。期間は昭和49年10月から50年12月にわたる。なお、18ヶ月健診受診率はストや季節などの外的条件に左右されるが、最低40%、最高66%程度である。

### 18ヶ月健診の方法

健診は図に示すような順序、人員によって行われる。



母親は健診用紙と共に送られたアンケート用紙表5に記入して来所する。受付後、保健婦により問診、アンケート、母子手帖のチェックが行われ、ケースワーカーにより、母親の態度が個人的に行われる。次室では、看護婦による計測が行なわれ、第3室では、医師による身体的、精神的診断と行動観察の1部(歩行及び手指の運動機能)が、保健婦の介助のもとに行われる。

第4室では、児童の行動観察(ことば、遊び、母子分離など)と、母親へのグループ指導が同じ部屋で同時に行なわれる。個別指導が必要な場合

は随時、関係職員(前述の職員のほか、栄養士も含めて)によって行なわれる。

終了後の話しあいにより、家庭訪問や、必要な諸機関との連絡、協力も行なわれる。

### 結果

1) 昭和49年10月から50年12月までに、18ヶ月児健診に参加した児童は、表6に示すように300名、受診率は平均して51.7%であった。

未受診児280名は保健婦による家庭訪問、追跡調査が行なわれた。受診児300名中、異常なしとされた者は、240名、要医療19名、要観察35名、要指導6名計60名であった。要医療の内容は、受診時に咽頭炎などに罹っていたものが9名でもっとも多く、整形外科的診察を要するもの、ヘルニアを有するもの、皮膚疾患その他身体的疾患によるものが17名で、精神発達遅滞、痙攣を有するものが2名であった。

2) 昭和50年4月より10月までの18ヶ月受診児147名について、母親の記入したアンケート内容を詳しく検討すると、表7のようになり、ひとり歩き、小さい物をコップに出し入れすること、などは97%以上が可能であった。

現在治療中の病気、既往疾患として、母親が挙げたものも、表7に示される。

母親からの自由記述による質問内容は、表8のようになる。34人の母親が、計46の質問をしている。体重、食事、習癖、身体的な問題が挙げられている。

3) 行動観察については、前述のように母親のグループ指導と同じ室で、じゆうたんの上に玩具をおき、表9に示すような行動観察表により、保健婦(後に心理学者が加わる)により行なわれた。行動観察表は何回か、改められた。行動観察の一部(歩行、手指の運動機能)については、医師の診断時に行うようになっている。この年令の子どもの行動観察については、母子分離の問題、危険防止、個人差の大きいこと、時間の短いことなど、さ

まさまの問題があり、その方法については、現在なお検討中である。しかし、実際に子どもを観察することは、スタッフにとっても、話しあいをしている母親にとっても、いろいろの面で効果的であった。とくに母親には、他の子どもの様子（たとえば、衣服の厚薄）や、他の母親の干渉のしかたや玩具の与え方を見ながらの話しあいにより、「相互学習」という点で効果的であった。

話しあいの中で多く出てくる母親の関心事としては、体重増加や食事に関するものが多く、この事は出生時体重の少ないことと関係すると思われた。また、一般に母親の期待が過大という傾向もうかがわれた。

4) MCCテストを、3ヶ月、9ヶ月、18ヶ月時に行なっている児童の経過を見ると、表10の如くなり、月令の増加と共に発達指数C(70~89)が減少し、B(90~109)が増加している傾向が認められた。

5) なお、健診に参加しなかった未受診児については、全員に対して保健婦が、家庭訪問を行ない、表11の如き追跡調査表にもとづき、状態を調査した。そのうち、今回は昭和49年10月から50年9月までの未受診児133名についての資料を検討してみた。

健康管理状況を見ると、表12の如く全く受けていないものは18名(13.5%)で比較的少ない。最後に健診を受けた月令は12ヶ月の時点が46名でもっとも多く、施設としては、市役所健康管理課の健診が67名(66.3%)で、もっとも利用されている。

未受診児が最後に医師によって診断を受けたとき、異常なしとされたものは91名、異常ありとされたものは10名で、医師による診断内容は表13に示すとおりである。また、家庭訪問時に、現症として保健婦が観察し、あるいは母親から訴えられた問題の内容も、表13に示すとおりである。

また、母親が日常生活の上で、問題点として挙げたものは、表14のごとくで、母親グループの話しあいの場合と同様、食事に関するものが多かった。

受診しなかった理由としては、「受けたいと思っていたが、やむをえぬ理由で行けなかった」としているものが、83名で、「最初から行く気がなかった」というものが25名である。

他の25名は、いづれとも、はっきりしない。

行けない理由としては、子ども本人に関するものとして、「一時的に病気であった」34名、「発育順調で問題なし」11名、「他で医学的管理を受けている」8名、「双生児で連れてゆかれぬ」5名である。「発育順調」の中には、送られてきたアンケートが全部出来たからと、発達テストの代用に使っている場合も含まれる。

家族に関する理由としては、「父、母の病気、出産、入院」12名、「兄弟の病気」11名、「母の職業」7名、「母の用事」13名、などが挙げられる。「実家に帰省中」7名、「旅行中」は3名である。健診施行上の問題としては、「会場が遠い」4名、「天候」2名、「混雑する」1名、「通知の返送など」3名、「通知の紛失、忘却」4名などが挙げられる。

3~4ヶ月健診未受診児の家庭訪問と比較すると、3~4ヶ月児の場合は、「発育順調故来所しない」という場合は、289名中2名(0.7%)で、18ヶ月児の8.2%よりはるかに少ない。

また、「天候、交通事情、遠距離」などが12%で、18ヶ月児の4%より多く、「双胎で連れてゆかれぬ」も、7.7%で、18ヶ月児の3%よりも多くなっている。

これらの結果を見ると、未受診児であっても、少なくとも登録されている児童に関しては、母子関供、医療状況などで、とりわけ重篤な問題が数多くあるようには感じられなかったが、医療管理を受けている児童について日常のケアの面で更に検討する必要がある。

あ と が き

3才児健診の前に、幼児前期健診を行なう必要性については、精神衛生領域において、早くから認められているものの、その実施方法、意義、評価、問題発見後の治療指導の技術面について、実証的な研究が乏しい。われわれは、過去数ケ年にわたり、3ヶ月健診から接触したこれらの児童の予後を追求することにより、また、更に異なる月令(たとえば、24ヶ月児)に試みることで、上記の諸点をより明らかにしたいと考えている。

参 考 文 献

- (1) 池田由子, 根岸敬矩, 上林靖子他: 乳幼児期の精神衛生その1, 精神衛生研究21号, 昭和48
- (2) 池田由子, 根岸敬矩, 上林靖子他: 乳幼児期の精神衛生, その2, 精神衛生研究22号, 昭和49
- (3) 池田由子, 根岸敬矩, 上林靖子他: 乳幼児期の精神衛生その3, 精神衛生研究23号, 昭和51

表1 未熟児管理数 (5.1.2.1現)

年	3~4ヶ月児 健診対象者数	転 出	転 入	死 亡	現在数	双胎(粗)
48年生	375	47	38	3	363	18
49年生	398	42	45	3	398	18
50年1月~10月生	276	9	10	1	276	17
計	1049	98	93	7	1037	53

表2 転出状況 (48年1月~50年10月生) ( )死亡別掲

地区	総転出数	転 出 時 期				県 出 先			
		1年以内	18ヶ月まで	18ヶ月以降	不 明	県 内	県 外	不 明	外 国
松戸地区	31(5)	21(2)	5(2)	5(1)		9	10	12	
常盤平々	31(1)	21	4	5	1	12	15	3	1
小金 々	14	7(1)	5	2		5	4	5	
馬橋 々	9	4		4	1	3	1	5	
東部 々	7	7				2	3	2	
矢切 々	6	6				0	2	4	
計	98(6)	66(3)	14(2)	16(1)		31	35	31	1

表3 転入状況 (48年1月～50年10月生)

地区	総転入数	転入期		
		1年以内	18ヶ月まで	18ヶ月以降
松戸地区	40	33	2	5
常盤平〃	25	15	8	2
小金〃	7	6	1	
馬橋〃	7	5	1	1
東部〃	13	13		
矢切〃	1	1		
計	93	73	12	8

表4 健康管理課管理未熟児の死亡状況

年	死亡原因	年令	死亡場所	死亡に至るまでの期間
48年	肺炎(心疾患・発達おくれ)	2才3ヶ月	国立国府台病院	
	ダウン症			
	先天性奇型(食道) 火災による事故死	6ヶ月 6ヶ月	市立病院 自宅	
49年	急性肺炎	1才	恩田病院	1日
	急性脳症	7ヶ月	市立病院	
	心不全	3ヶ月	(住民登録していないため不明)	
50年	ダウン症(心不全)	5ヶ月	自宅	1日

表5 健康診査のおしらせ

乳幼児期は心身ともにはずばらしい成長をし、この時期には人間の体カや性格の基礎が作れると  
いわれます。

松戸市では2500g以下で生れた乳児の健診を実施してきましたが、幼児期のより健やかな  
成長を願って18ヶ月の健診を行いますのでつぎの日時、場所においてください。

松戸市衛生部健康管理課 (TEL代表66-1111)

記

日 時 年 月 日 時 分

受付時間 午前 午後 時 分

場 所 \_\_\_\_\_

もってくるもの 母子健康手帳 アンケート用紙

これからおたづねすることは、お子さんの健康状態を知るために必要なことからです。診察の  
折に見せていただきますので、ご記入の上、お持ち下さい。わからない点がありましたら当日係  
の者がおききして記入しますので、そのままお持ち下さい。なお、子どもさんにより個人差が大  
きいので、できない項目があっても、御心遣いは及びません。

A 家族の状況

お子さんの氏名	ふりがな		昭和 年 月 日		昭和 年 月 日	
	生年月日		生年月日		籍 柄	
住 所	職業		健康状態		健康状態	
父	兄弟姉妹		年 命			
母	その他いつ					
祖父	しよに住ん					
祖母	ている人					

B お子さんのことについてあてはまるところに○印をつけ( )内は自由に書いて下さい。

1. うまれた時の体重は( )g
2. 出産予定日は( )年 月 日)
3. 今までに病気をしましたか ｲ, しない ｳ, した(病気 )
4. 現在治療中の病気がありますか ｲ, ない ｳ, ある(病気 )

C 次の項目を読んで、あなたのお子さまにあてはまれば「はい」あてはまらなければ「いいえ」どちらともきめられなければ「わからない」を○でかこんで下さい。

1. ひとり歩きができますか はい いいえ わかららない
2. 片手をひいてあげると階段をのぼることができますか はい いいえ わかららない
3. 小さなものをコップ、ビンなどに入れて出したりして遊ぶことができますか はい いいえ わかららない
4. 積木を3〜4個重ねることがができますか はい いいえ わかららない
5. お母さんが例を示してあげたら絵をひくのをまねることがができますか はい いいえ わかららない
6. 絵本をみて動物や物の名前をきくとそれを指さすことができますか はい いいえ わかららない
7. 自分の名前も含めて、ことばを10語くらいいえますか はい いいえ わかららない
8. 簡単な命令に従って行動することができますか はい いいえ わかららない
9. テレビモニターや音楽に合わせて体を動かしますか はい いいえ わかららない
10. スプーンやしを自分で自分で食べたり飲んだりできますか はい いいえ わかららない
11. おしっこやうんちをおかしくおしこくことができますか はい いいえ わかららない
12. 目つきや目の動きがおかしいと思いませんか はい いいえ わかららない
13. あまり泣いたり動いたり動いたりせず大愛おとなしいですか はい いいえ わかららない
14. ひきつけやけいれんをおこしたことがありますか はい いいえ わかららない

D その他に心配なことや気になるくせなど相談したいことがあれば書いて下さい

表6 未熟児健診(18ヶ月児)月別受診状況(49.10~50.12)

( )は初診者

実施月	対象数	受診数	受診率	追跡訪問	異常なし	異常あり		
						要医療	要経観	要指導
49年10月	41( 5)	21	51.2%	20	12	4	4	1
11月	42( 8)	13( 1)	31.0	29	6	6(1)	1	
12月	35( 2)	19	54.3	16	17		2	
50年 1月	47( 7)	24( 1)	51.1	23	16	5		3(1)
2月	35( 3)	14( 1)	40.0	21	12			2
3月	44( 7)	21( 3)	47.7	23	21			
4月	29( 4)	15( 2)	51.7	14	11( 1)	1	3(1)	
5月	29( 4)	19( 3)	65.5	10	18( 3)		1	
6月	44( 1)	24( 1)	54.5	20	15( 1)		9	
7月	52( 6)	32( 4)	61.5	20	29( 4)		3	
8月	33( 6)	14	42.4	19	13( 1)	1		
9月	47( 4)	30	63.8	17	25	1	4	
10月	29( 8)	16( 3)	55.2	13	14( 2)		2(1)	
11月	35(12)	16( 4)	45.7	19	14( 4)		2	
12月	38( 5)	22	57.9	16	17	1	4	
計	580(82)	300(23)	51.7	280	240(16)	19	35	6

表7 18ヶ月児受診者アンケートからの状況(50,4~50,10受診者)

発達について

	は	い	いい	え	わからない	記入なし
1, ひとり歩き	144	98.0%	3	2.0%		
2, 手をひいて階段を上る	139	94.6	5	3.4	3	2.0
3, 小さなものをコップに出し入れ	146	99.3			1	0.7
4, 積木を3-4コつむ	122	83.0	11	7.5	9	6.1
5, 例示すると線を引く	115	78.2	14	9.5	12	8.2
6, 動物の絵をさす	121	82.3	13	8.8	12	8.2
7, ことば10語	95	64.6	45	30.6	6	4.1
8, 命令に従って行動する	143	97.2	2	1.4	1	0.7
9, 音楽にあわせて体を動かす	139	95.5	5	3.4	2	1.4
10, スプーンやはしを使用	138	93.8	7	4.8	1	0.7
11, 尿便のあとおしえる	91	61.9	42	28.6	9	6.1
12, 目つきや目の動きがおかしい	3	2.0	135	91.8	5	3.4
13, 泣いたり動いたりせずおとなしい			146	99.3	1	0.7
14, ひきつけをおこした	7	4.8	139	95.5		

計 147

現在治療中の病気

無	145	98.6%	
有	2	1.4	とびひ, 膝関節腫瘍

既往疾患

無	124	84.4%	
有	23	15.6	中耳炎2, 突発性発疹4, 風疹1, かぜ11 麻疹3, ヘルニア1, じんま疹1,



表8 質問内容

実数34人

身体発育上の問題	体重が少ない。増加がわるい	3	
運動機能発達上の問題	歩行が正常かどうか	1	
	前かがみに歩く	1	
	内股	1	
	ガニ股	1	
	左足をのばしたまま歩く	1	
ことばの問題	しゃべるのが皆よりおそい	1	
	幼児ことば	1	
感情の問題	すこし怒りっぽい	1	
	物をなげることがはげしい	1	
	気に入らないと道路にねころんでしまう	1	
日常生活上の問題	食事	量が少ない	4
		夜中に哺乳ビンを使う	1
		人工栄養児の今後の育て方	1
		清涼飲料、乳酸飲料について	1
	睡眠	夜なき	1
		添いねはいけないか	1
	排泄	オムツをスムーズにとる方法	1
早くオムツをはずしたい		1	
気になるくせについて	指しゃぶり	4	
	下唇をよく吸う	1	
	左きき	1	
	左目のくせ	1	
	時々体をふるわす	1	
	上眼瞼をつまんだり押したりする	1	
身体の異常について	頭の形	1	
	大泉門がとじていない	2	
	停留睪丸	1	
	血管腫	1	
	臍ヘルニア	1	
	歯ならび	1	
	斜視	1	
	右膝関節腫瘍	1	
	痔(1才ごろから)	1	
	かぜをひきやすい	1	
予防接種について	種痘	1	
	はしか	1	
	延	46	

表9 未熟児健診(18ヶ月児)行動観察記録

氏名		生年月日	住所
問診	言語	体の部分、動物を指さしてできる	備考
		喃語あるいは単語ないし数音節の発声がある(例 )	
診察	運動(歩行)	つかまらずに歩ける	
		走ることができる	
		ころびやすい	
		不安定な歩き方をする	
診察	(微細運動)	小さいものをわしづかみあるいは	
		ハサミ状につかむ	
		つま木をつみあげることができる	
行動観察	あ	人のまねをすることができる	
		名前を呼ぶとふりむいたり返事をする	
		簡単な徒命行動がとれる (おもちゃをもってくるように言う)	
	そ	遊戯中明瞭なことばがでない	
		おもちゃを投げることが多い	
		おもちゃを口にすることが多い	
		流涎がめだつ	
		親から全くはなれない	
		母親・スタッフ・他児に全く関心を示さない	
		感情の表現に乏しい	
	び	泣き叫んでいる	
		特殊なくせがある	
		全体の印象	

表10 M C C精神発達検査結果(48,4~9月生の41人について)

<満年齢による場合>

3ヶ月時	18ヶ月時
A : 1人	B : 1人
B : 10人	B : 8人 C : 2人
C : 6人	B : 6人

<修正年齢による場合>

3ヶ月時	18ヶ月時
A : 9人	A : 1人 B : 8人
B : 5人	A : 1人 B : 4人
C : 3人	B : 3人

9ヶ月時	18ヶ月時
A : 1人	B : 1人
B : 25人	B : 25人
	B : 7人
C : 8人	C : 1人

9ヶ月時	18ヶ月時
A : 9人	A : 1人 B : 8人
B : 21人	B : 21人
C : 4人	B : 4人

精神発達指数

A : 110~
B : 90~109
C : 70~89

表11 未熟児健診未受診者追跡(18ヶ月児)

乳児氏名		生年月日	( 月 日 )	訪問	年 月 日
住 所				保健婦氏名	

1, 受診しなかった理由

A 受けたいと思っていたが行けなかった

B 最初から行く気持はなかった

C その他 (具体的に)

(具体的に) \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

2, 今までの健康管理状況と結果

A. 定期的に毎月うけている

B. 時々うけている

C. 全くうけていない

月令	施設名	内 容	結果・その他

3, 今までに治療した病気について

- イ. なし ( )
- ロ. あり ( )

4, 訪問時の状況

A 現 症

B 日常生活上の問題点(食事, 睡眠, 排泄, くせなど)

イ なし

ロ あり

C 発達の状況(できる項目に○印をつけて下さい)

月令	1	2	3	4	5	6	項目
1才6月							ひとり歩き(外で自由に)する
1才3月							ひとり立ちひとり歩き(室内で)
1才							ねた位置からおきですわる
11ヶ月							這う
							移動運動
							なぐりがきする
							親指とひとさし指でつまむ(2cm積木)
							箱のふたをとる
							1つのものを持ちもう1つのものをとる
							手の運動
							4語言える
							自分で自己流にやることを主張する
							2語で
							はめられると何度も同じ動作をする
							1語で
							未知の人を恥かしかる
							バイバイに反応する
							おもちゃをとられて不快を示す
							言語発達
							自分で自己流にやることを主張する
							はめられると何度も同じ動作をする
							未知の人を恥かしかる
							おもちゃをとられて不快を示す
							情意の発達
							要求を理解する(おいで、ねんね、ちょうだい)
							品物をひもでひっぱる
							つづまれたおもちゃをとる
							好きなおもちゃの方をとる
							知的発達
							パンツをはかせる時両足を広げる
							自分の名前がわかる
							父兄母弟(身近な人)がわかる
							未知の人を恐れる(人見知り)
							社会的発達

( 遠城寺式分析的発達検査 )

表 12 18ヶ月健診未受診者の追跡訪問結果（49年5月～50年9月実施分）

健康管理状況と結果

毎月うけている	17	12.8%
時々うけている	91	68.4
全くうけていない	18	13.5
記入なし	7	5.3

最後に受けた月令と施設別の集計

	病・産院	医院	市役所 未健	その他	計	%
4ヶ月まで	1	6	7	1	15	
～ 6ヶ月	3	3	10		16	
～ 9ヶ月	2	1	11	1	15	
～12ヶ月	5	3	38		46	
～15ヶ月	1	2			3	
～16ヶ月	1	2	1		4	
～18ヶ月		2			2	
全くうけていない					11	8.8%
不 明					13	
計	13	19	67		125	
	12.9%	18.8%	66.3%	20%	100.0%	

表 13 18ヶ月健診未受診者の追跡訪問結果

最後受診の結果(医師)

異常なし	91	90.1%
異常あり	10	9.9%

異常の内容	脳性マヒ	2,	心疾患	1,
	未熟児網膜症	1,	白蓋形成不全	1,
	停留睪丸	1,	体重増加不良	1,
	湿 疹	2,	涙腺炎	1,

現症の有無(保健婦)

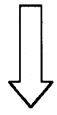
有	25	18.8%
無	101	75.9%
記入なし	7	5.3%

発達のおくれ 独歩不可 言葉なし	1
脳性マヒ 點頭てんかん	1
歩けない(つかまり立ち可)	1
要求は理解するが言葉になってない	1
大泉門開大、後頭部腫瘤2ケ	1
風 邪	5
鼻カタル	1
種痘後の熱発	1
未熟児網膜症による斜視・近視・乱視	1
右眼内斜視、疑い	2
体重増加不良	2
肥 満	2
停留睪丸 ソケイヘルニア	1
麻 疹	1
湿 疹	1
眼筋異常	1
便 秘	2

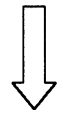
表 14 18ヶ月健診未受診者の追跡訪問結果

日常生活上の問題点

問題 有	32	問 題 有 の 内 容		人
〃 無	93	食 事	量が少ない	4人
記入なし	8		食事量少なく牛乳多い	1
			偏 食	2
			偏食・時間不規則	1
			食べない	1
			ミルク量が多い	1
睡 眠		添 寝	1	
		ねつきがわるい	1	
		夜泣き	1	
		タオルをつかんで眠る	1	
		フツンの端をかんで眠る	1	
排 泄		うんち、おしっこを教えない	1	
		うんちのあと教えない	2	
く せ		指しゃぶり	3	
		左きき	1	
		バスタオルをはなさない	1	
そ の 他		母乳をやめられない	2	
		体重増加不良	2	
		う 歯	1	
		子を甘やかした	3	
		かぜがなおらない	1	



**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



まえがき

われわれは前年にひきつゞき、松戸市に生れた低出生体重児について、いわゆる未熟児健診を、月令3ヶ月、6ヶ月、9ヶ月、12ヶ月、18ヶ月の時期に行なってきた。(松戸市で出生した者については、生後1ヶ月以内にすでに家庭訪問を行なっている)。また、未熟児健診未受診児については、必らず、保健婦による家庭訪問を行ない、精神、身体面の発達を追跡しようとしている。

そのうち、3~4ヶ月児健診の結果については、その一部をすでに報告してあるので、今回は18ヶ月児の健診結果については、報告したい。